

令和3年9月8日

関係者各位

特別養護老人ホーム西島寮
施設長 種岡 養一

新型コロナウイルス終息のお知らせ（お詫び）

平素よりお世話になっております。

この度、当施設特養2階にて新型コロナウイルス陽性者発生により多大なるご心配をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。また様々な激励のお言葉をいただき、誠にありがとうございました。

おかげさまで陽性者のご入所者も回復し、陽性者の発生した階の職員・入所者への広がりも抑え込み、職員の罹患もなく、最小限の罹患者で終息を迎えることができました。

この度の経緯として、当施設独自の、新型コロナウイルス感染症が浜松市内において増加した場合、（具体的基準に基づき増加をとらえてきました）当法人内の特養、ケアハウス、デイサービス、居宅介護支援事業所の職員が交流することを禁止する「部署間交流制限」を8月1日から開始しております。

その後、令和3年8月15日から17日に当施設をご利用されたショートステイご利用者のご家族が、新型コロナウイルスの陽性者となり（ご利用前よりご家族の体調不良があるもご利用時の体調確認にご申告いただけず8月20日PCR検査、8月21日陽性判明）、その濃厚接触者であるショートステイご利用者が、8月17日に熱発し、即個室対応とし、1時間半後にご家族送迎により帰宅され、翌日新型コロナウイルス陽性者のご連絡をいただきました。

前述の通り、今回のショートステイご利用数日前より体調不良がご家族にありましたが、昨年4月より実施してまいりました「ご本人・ご家族の体調チェック表」におきまして、ご申告いただけず、ショートステイご利用者の熱発に端を発し、陽性階を隔離する対応をとってまいりました。しかしながら8月25日にほぼ同時刻に3名の熱発者が発生し、陽性者発症に至ったところです。（この間1回のPCR検査及び2回の抗原検査を実施）

その後、8月26日には2階にコロナ感染者用に、陽性者との接触を完全に避けるための壁を設置致しました。概ね新型コロナウイルス発症時のシミュレーション訓練通りの動きで感染対策を実施いたしました。（当施設は昨年事業継続計画を作成し、職員に周知し対応してまいりました。）

9月8日（水）14時45分をもって陽性階2階も含め14日間が経過したため、この度の新型コロナウイルスの終息を宣言させていただきます。

この反省をもとに、別紙「コロナ禍における健康確認書」を作成し、すでにショートステイご利用者のご家族に、ご利用の都度、ご署名をいただくことといたしました。

わたくしどもは、特別養護老人ホームを運営するにあたり、ご高齢かつ虚弱なご入所者の生命を守る責務がございます。いかなる時もどのような感染症からも、施設としての感染症対策を、事業継続計画を踏まえ、ウイルスを「持ち込まない、持ち出さない」責任を果たすべく今後も対応してまいります。今後ともよろしくお願い致します。